ご安全に！基幹労連の工藤です！（３）

「忘れてはならない」

ご安全に！

基幹労連の工藤です！本日、第 47 回衆議院総選挙が公示されました。基幹労連は長崎１区に組織内候補「髙木義明」氏を擁立するとともに全国で１０７名の推薦を行い、更に兵庫 6 区の「つじ泰弘」氏（基幹労連国政フォーラム顧問）を含め１６名を重点候補者として確認しました。

2012 年に行われた第 46 回衆議院議員総選挙において、組織内候補「髙木義明」氏は九州比例での当選を勝ち取りましたが選挙区で惜敗しました。また基幹労連推薦候補者 192 名中 145 名、重点候補者 28 名中 16 名が落選しました。優秀な多くの仲間が涙をのんだ、忘れる事の出来ない選挙です。凄まじい逆風の中、民主党候補への支援は組合員に「伝わらなかったと言っても過言では無い」のではないでしょうか。さらに、民主党支持というだけで辛辣な言葉を投げかけられた方も多かったのではないでしょうか。一番頼りにする家族からも、理解を得るのが苦しい戦いでした。それでも渾身の力を振り絞り戦って頂きました。改めて敬意を表します。一方、

民主党はいまだ国民の信頼を取り戻しているとは言えません。

巨大な与党はこの間、労働者保護ルールの改正に向けた各種取り組みを進めました。労働者派遣法の改正に向けた対応もその一つです。労働者を守ろうとする極めて根源的な法律でさえ、我々は、日本全国で反対の活動を行わなければ、国会前で座り込みを行わなければ、集会を連日開催しなければ、さらに髙木代表代行を中心とした民主党の議員のみなさんに絶大なる協力を得なければ止めることができませんでした。**自公政権が「岩盤」と呼ぶ労働者保護の為のルールは、「実は極めて脆弱な土台の上に乗っている」**という事が分かった 2 年間でもありました。

我々は今一度、渾身の力で現政権と対峙し、全国で働く者の声を国政に届けなければなりません。「厚く、豊かな中間層の実現」が日本経済には不可欠です。**自らの声で思いを伝え、支援の輪を広げてください。一人の百歩より、百人の一歩が勝ります。**共に戦いましょう。

以　上

２０１４年１２月２日

日本基幹産業労働組合連合会
中央執行委員長　工藤 智司